

中井正一関係資料

本解説は、今回目録を作成した京都大学大学文書館（以下、大学文書館）所蔵『中井正一関係資料』について、利用者が利用しやすく、かつ資料について理解を深めることができるように、中井の略歴、資料の概要、内容上の特徴などを紹介することを目的とする。

[解説]

1) 中井正一について

中井正一（1900～1952）は戦前から戦後にかけて活躍した美学者・哲学者で、その活動はアカデミズムにとどまらず、消費組合運動や1930年代の反ファシズム運動にまで及んだ。戦後は広島で文化運動を推進したのち、国会図書館副館長として戦後日本の図書館界に貢献した。

中井は1900年広島県賀茂郡竹原町に生まれた。第三高等学校を卒業後、京都帝国大学文学部哲学科に入学し、1925年同大卒業後は大学院に進学して深田康算教授に師事した。1930年には京都家庭消費組合理事に選任されたほか、『美・批評』を創刊（1933年終刊）、1933年には滝川教授退職反対運動に参加した。翌年真下信一、久野収、新村猛、和田洋一らと第2次『美・批評』を再刊、1935年には同誌を拡大して『世界文化』を、翌年には能勢克男、斎藤雷太郎らと『土曜日』を創刊した。1935年に京都帝国大学文学部哲学科講師に就任する。1937年には京都映画クラブを結成するが治安

維持法違反で検挙、のち保護観察の対象となり、1940年に懲役2年、執行猶予2年の判決を受けた。1944年尾道市嘱託として採用され、敗戦後は尾道市図書館長に就いた。同地で文化運動に携わりながら1947年日本社会党に入党し、広島県知事選挙に出馬、落選。1948年上京して国会図書館副館長に就任、翌年には日本図書館協会理事長になった。1952年病没。

戦後の中井研究を俯瞰すれば、1950年代末から全集、評論集が刊行されたほか、中井に関する著書、論文も数多く発表されてきた。評伝、研究書は2000年代以降に集中して刊行され、近年再評価の機運がとみに高まっている。こうした諸研究を下支えしてきたのが中井の著作に関する詳細な文献調査であり、新村徹・平川千宏「中井正一著作目録」（『参考書誌研究』32号）、平川千宏「中井正一の戦後の活動に関する文献」（『参考書誌研究』35号）平川千宏・藤井祐介「中井正一著作目録 追補」（『参考書誌研究』67号）は今回の資料整理でも活用させていただいた。

2) 中井資料の概要

2-1) 由来と意義について

本資料は、2006年に中井正一長女の岡田由紀子氏より大学文書館に寄贈された。寄贈の仲介者は、藤井祐介氏（中井正一研究会）である。2000年尾道で開かれた「中井正一生涯百年の集い」を機に

生まれた中井正一研究会では、中井のテキスト読解・紹介に務めるかたわら、ご遺族宅にある資料の寄贈を検討していたという。今回寄贈を受けたのはその一部である原稿、メモなどである。中井が京大出身だったこと、大学文書館側も京大関係者の寄贈を受け入れていたことから、寄贈先に大学文書館が選ばれたと考えられる。当館以外には市立竹原書院図書館などにも中井正一関係資料が収められているという。

今回大学文書館が受け入れた資料は馬場俊明氏が『中井正一伝説 二十一の肖像による誘惑』(2009年、ポット出版)執筆時に利用されているが、その詳細な分析は現在でも未着手のままである。戦前から戦後にかけての中井の原稿、メモの公開により、彼の思想的営為を構想レベルから追うことが可能となり、中井及び彼を取り巻く同時代の思想史について新たな知見が生まれ出る可能性は大きい。

2-2) 資料整理に際して

大学文書館では資料寄贈後整理に取り掛かったが、整理前の状態として、古い封筒に入った資料と新しい封筒に入った資料があることを確認した。前者は中井自身が生前に整理していた資料群、後者は中井の没後関係者によって整理された資料群と考えられる。つまり、これまでに2度整理されている。

以上を踏まえ、大学文書館の資料整理と目録作成の方針として、現秩序を可能な限り維持することを最優先とした。これは関係資料が主に中井の直筆原稿、メモ類から成り、資料の種類が限定されていること、また断片的な原稿、メモが多いためタイトル、発行年などの特定が難しく、現秩序を変えれば今後の資料特定や資料の連関の把握が困難になることが主な理由である。

2-3) 資料の概要

関係資料は、寄贈前の封筒に依拠して整理し、以下の14に分類した。本項ではその概要を説明する。

- 1 弔辞関係
- 2 NHKラジオ放送「日本の美」原稿
- 3 NHKラジオ放送 民衆学校関係原稿
- 4 原稿
- 5 NHKラジオ放送 民衆学校関係原稿
- 6 『深田康算全集』関連原稿
- 7 原稿、メモ類
- 8 原稿、メモ類
- 9 『美学入門』関連原稿
- 10 『美と集団の論理』関連原稿
- 11 原稿、メモ類
- 12 原稿、メモ類
- 13 国会図書館関係
- 14 原稿、メモ類

1 弔辞関係

1952年5月、中井は胃痛のため51歳で亡くなり、同月24日築地本願寺で国会図書館葬が行われた。その時に読まれた国会図書館長金森徳次郎らの弔辞である。

2 NHKラジオ放送「日本の美」原稿

ビニール袋の中に古い封筒3通とロシア語冊子が入っている。一通目の封筒には「真理は吾等を自由にする」(1948年10月)、御進講要綱「日本の美について」のタイプ印刷原稿が入っている。2つ目の封筒には、1951年10月から12月にかけて放送されたNHKラジオ第2文化講座「日本の美」(第1～13回)の原稿が入っている。各原稿には校正記号の書き込みや「日本の美 宝文館」印があることから、中井没後に刊行された日本放送協会編『日本の美』(1952年、NHK教養大学、宝文

館)の校正に使用されたと考えられる。3つ目の封筒には『日本の美』関係の目次、原稿の他、住所録、「昭和十七年度学術研究費補助推薦書」草稿などが入っている。

3 NHKラジオ放送 民衆学校関連原稿

1949年12月に放送されたNHKのラジオ民衆学校のタイプ印刷原稿が大部分を占め、透明のビニール袋に入っている。寺田太郎、野上彰など中井以外の担当者のものである。後述の5と関連する。それ以外には国会図書館業務に関する原稿、メモ類、ラジオ放送原稿断片も含まれている。

4 原稿

「中井正一資料 No.1」という新しい封筒に資料が入られていることから中井の没後に纏められたと考えられる。同封筒内の資料は、古い封筒に入った資料とそのままの資料に分類できる。前者は『美と集団の論理』校正ゲラの一部、後者は「目次」と原稿を集めたものである。「目次」によれば、戦後、「美と実存 新しき美の課題」というタイトルのもと過去の論文を選んで出版する計画があったようである。目次各章にあたる論文の直筆原稿、論文切り抜きが添えられ、それらには校正記号が朱筆で書き加えられている。しかし、同題の著書出版は現在のところ確認できていない。

5 NHKラジオ放送 民衆学校関連原稿

3と連続する資料で、古い封筒に入っている。いずれも中井正一作の表記はなく、ラジオ民衆学校の参考資料として中井に送られたものと考えられる。

6 『深田康算全集』関連原稿

『深田康算全集』(岩波書店)編纂時に用いられた深田自身の直筆原稿。深田は京都帝国大学文学部教授で1928年に亡くなった。没後、弟子の中

井たちが全集編纂にあたり、その時の原稿が中井の手元に残されたと考えられる。深田の原稿は「深田全集」と書いてある古い封筒の中にあり、さらに「深田先生全集原稿」という新しい封筒に入っている。

7 原稿、メモ類

「中井正一先生 研究メモ類 草稿」と書かれた新しい封筒に入っている。内容は戦前から戦後にかけての原稿と校正ゲラの断片、メモ類などである。その中で興味深いのは、「京都府川端警察署」「京都府 警察用紙」と印字された原稿用紙に書かれたメモ類である。これらは1937年の検挙・収監時に中井が使用したものと考えられ、本居宣長全集の読後メモや「産霊」などに関する内容が書き留められている。

8 原稿、メモ類

資料は「未整理原稿」と書かれた古い封筒に入っており、さらに「中井正一先生未整理原稿」と書かれた新しい封筒に入っている。内容は「美学入門」を中心とする校正ゲラ、草稿断片、メモ類などである。

9 『美学入門』関連原稿

「中井正一先生「近代美の研究」中に写真あり「美学入門」「芸術観のさまざま」と書かれた新しい封筒に入っている。内容は、『近代美の研究』(1947年、三一書房)の目次案、校正に使われた論文切り抜きと原稿断片、文化講座「美学入門」の原稿から成る。「美学入門」は第1回から第9回までまとまって入っており、これらはのちに『美学入門』(1951年、三一書房)として刊行された。写真1枚同封。

10 『美と集団の論理』関連原稿

「中井正一先生「美と集団」「スポーツ気分の構

造」と書かれた新しい封筒に入っている。久野収編『美と集団の論理』（1962年、中央公論社）校正時に用いられた原稿の一部で、「思想的危機に於ける芸術並にその動向」「スポーツ気分の構造」の2篇から成る。中央公論社原稿用紙が使用され、原稿には校正記号が朱筆で加えられている。

11 原稿、メモ類

「中井正一先生 未完成原稿 研究メモ・草稿 放送原稿」と書かれた新しい封筒のなかに、中井正一宛の古い封筒①、「未完原稿」と書かれた古い封筒②、表に「文化運動」と朱筆で書かれ消された痕跡がある古い封筒③が入っている。①は校正記号が入った原稿の断片、②は原稿「国立国会図書館について」、③は戦前から戦後にかけての原稿断片、メモ類などを集めたものである。

12 原稿、メモ類

資料は「未整理原稿」と書かれた古い封筒に入っており、さらに「中井正一先生未整理原稿」と書かれた新しい封筒に収める。「美学入門」の原稿などが見られるが、多くは原稿断片やメモ類などが集められたものである。

13 国会図書館関係

「中井正一先生 国立国会図書館関係」と書か

れた新しい封筒に入っている。中井没後に国会図書館関係文書の一部が封筒に収められたと考えられる。主要なものとして、国会図書館「文化の日」記念行事音楽文化資料展覧会（1950年11月）に関する内部資料、「故中井正一著作件名表（現在中井家にあるもの）」などがある。

14 原稿、メモ類

「中井正一先生 未整理原稿（メモ）」と書かれた新しい封筒に入っている。まとまったものはなく、ほとんどが原稿断片、メモ類である。

以上が中井正一関係資料の概要である。その詳細な検討は今後専門家の手に委ねざるをえないが、中井正一研究や同時代の思想史研究に一石を投ずるものであることは間違いないだろう。本資料の中核をなす中井の直筆原稿やメモ類まで詳細に検証したうえで、彼の軌跡と思想を描き直していく作業が求められる。そのためにも本資料が多くの方に利用されていくことを期待してやまない。最後に本資料を大学文書館に寄贈していただいた岡田由紀子氏と仲介の労を取っていただいた藤井祐介氏に改めて感謝申し上げる次第である。

（京都大学大学文書館助教 福家崇洋）

[目録]

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 1-1	[弔辞]	国立国会図書館長 金森徳次郎	巻紙1、奉書紙に包む	中井1は「弔辞」と書かれた「国立国会図書館」封筒に収める
中井 1-2	[弔辞]	日本図書館協会常務理事 有山崧	巻紙1、奉書紙に包む	
中井 1-3	[弔辞]	昭和27年度日本図書館協会総会 全国図書館大会 出席者一同	巻紙1、封筒入り	
中井 1-4	[弔辞]	国立国会図書館文部法務図書館長 松山貞夫	巻紙1、奉書紙に包む	
中井 1-5	[弔辞]	衆議院図書館運営委員長 菊池義郎	巻紙1、奉書紙に包む	
中井 1-6	[弔辞]	国立国会図書館職員組合執行委員長 安保隆夫	巻紙1、奉書紙に包む	
中井 1-7	[弔辞]	日本演劇協会会長 久保田万太郎	巻紙1、封筒入り	
中井 2-1-1	特別講義 真理は我等を自由にする	中井正一	タイプ、3冊	中井2は全体が透明ビニル袋に入ったもの、2-1は「特別講義「真理は吾等を自由にする。」と書かれた「人事院事務総局」封筒に収める
中井 2-1-2	美学御進講要綱「日本の美について」		タイプ、5部	4回分のプログラム
中井 2-2-1	放送原稿「日本の美」(第一回)	中井正一	原稿用紙16枚をひも綴じ、1冊	「一、西洋の美と東洋の美」「10月4日台本 七・〇〇—七・一五」、2-2は「ラジオ原稿 昭和二十六年十月、十一月、十二月、木曜日」と書かれた「国立国会図書館」封筒に収める
中井 2-2-2	放送原稿「日本の美」(第二回)	中井正一	原稿用紙17枚をひも綴じ、1冊	「二、中国と日本の美」「10月11日午前七・〇〇—七・一五」
中井 2-2-3	放送原稿「日本の美」第三回	中井正一	原稿用紙17枚をひも綴じ、1冊	「三、日本のところと日本の美」
中井 2-2-4	文化講座「日本の美」第四回	中井正一	原稿用紙16枚をひも綴じ、1冊	「四、文学—さやけさ、もののあわれ」「十月二十五日前七・〇〇—七・一五(第二)」
中井 2-2-5	放送原稿「日本の美」第五回	中井正一	原稿用紙15枚をひも綴じ、1冊	「五、文学—幽玄、わび、一」「十一月一日 前七・〇〇—七・一五(第二)文化講座」

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 2-2-6	放送原稿「日本の美」	中井正一	原稿用紙 16 枚をひも綴じ、1 冊	「六、文学—軽み、いき—」[十一月八日 前七・〇〇—七・一五文化講座]
中井 2-2-7	放送原稿「日本の美」	中井正一	原稿用紙 16 枚をひも綴じ、1 冊	「七、美術（その一）」[十一月十五日 前七・〇〇—七・一五文化講座]
中井 2-2-8	文化講座「日本の美」第八回	中井正一	原稿用紙 16 枚をひも綴じ、1 冊	「八、美術（その二）」[十一月二十二日 午前七・〇〇—七・一五]
中井 2-2-9	文化講座「日本の美」第九回	中井正一	原稿用紙 16 枚をひも綴じ、1 冊	「九、美術（その三）」[十一月二十九日 午前七・〇〇—七・一五]
中井 2-2-10	文化講座「日本の美」（第十回）	中井正一	原稿用紙 17 枚をひも綴じ、1 冊	「十、音楽」[12月6日 午前七・〇〇—七・一五 第二]
中井 2-2-11	文化講座（第十一回）舞台	中井正一	原稿用紙 17 枚をひも綴じ、1 冊	「第十一、舞台」[十二月十三日 前七・〇〇]
中井 2-2-12	文化講座（第十二回）	中井正一	原稿用紙 17 枚をひも綴じ、1 冊	「十二、世界における日本の美の位置」[12月20日（木）午前七・〇〇—七・一五 第二]
中井 2-2-13	文化講座（第十三回）	中井正一	原稿用紙 17 枚をひも綴じ、1 冊	「十三、日本の美を貫くもの」[12月27日 午前七・〇〇—七・一五（第二）]
中井 2-3-1	[原稿]	中井正一	原稿用紙、19 枚	「日本の美」目次と原稿他、2-3 は「副館長様」と書かれた「THE LIBRARY OF CONGRESS」封筒に収める
中井 2-3-2	[原稿]	中井正一	原稿用紙、3 枚	「壇と線」
中井 2-3-3	[メモ]		原稿用紙、1 枚	「東方、北方…」
中井 2-3-4	[原稿]		原稿用紙、1 枚	「判つてゐた真珠湾攻撃」
中井 2-3-5	[原稿]	中井正一	原稿用紙、1 枚	「名人芸とチームワーク」
中井 2-3-6	[名簿原稿]		国立国会図書館用箋、54 枚	アイウエオ順、「アドレスのないのは資料 A をみること」
中井 2-3-7	[名簿原稿]		国立国会図書館用箋 2 枚をひも綴じ	「東京アカシア会、24 名」
中井 2-3-8	[名簿原稿]		国立国会図書館用箋 2 枚をひも綴じ	「三高同窓、20 名」
中井 2-3-9	[原稿]		原稿用紙、16 枚	「放送原稿「日本の美」第四回 四、文学—さやけさ、もののあわれ」
中井 2-3-10	[原稿]		原稿用紙、15 枚	「放送原稿「日本の美」第五回 五、文学—幽玄、わび—」
中井 2-3-11	[原稿]		原稿用紙、4 枚	
中井 2-3-12	[メモ]		1 枚	右側「昭和十七年度学術研究費補助推薦書」、左側「研究ノ目的及方法ノ概要」
中井 2-4	[ロシア語冊子]		1 冊	語学テキストか

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 3-1	NHK 放送台本 ラジオ民衆学校 「芸術」 第二回 芸術とは何か	秋月桂太	ガリ版、ホチキスどめ、1冊	ラジオドラマ脚本、「昭和二十四年十月八日（土） 后六・〇〇一六・三〇 第一放送」「中井正一先生、中井 3 は「うずまきパワークラフト」の透明ビニール袋に収める
中井 3-2	NHK 放送台本 ラジオ民衆学校 ー芸術 の価値 「芸術」 3ー		ガリ版、ホチキスどめ、1冊	ラジオドラマ脚本、「昭和二十四年十月十五日（土） 后六・〇〇一六・三〇〔第一〕」
中井 3-3	NHK 放送台本 ラジオ民衆学校 「芸術」 第四回 芸術の美しさと自然の美しさ	西沢実	ガリ版、ホチキスどめ、1冊	ラジオドラマ脚本、「昭和二十四年十月二十二日（土） 后六、〇〇一六、三〇」
中井 3-4	NHK 放送台本 民衆学校 芸術の普遍性 について	野上彰	ガリ版、ホチキスどめ、1冊	ラジオドラマ脚本、「十月二十九日（土） 后六・〇〇一六・三〇（第一放送）」
中井 3-5	NHK 放送台本 芸術と道徳 エンディ グ・シーン		ガリ版、ホチキスどめ、1冊	ラジオドラマ脚本、「十一月十二日 放送 六・〇〇一六・三〇 第一」
中井 3-6	NHK 放送台本 ラジオ民衆学校 芸術と 思想 「芸術」 第 8 回	寺田太郎	ガリ版、ホチキスどめ、1冊	ラジオドラマ脚本、「昭和二十四年十一月十九日（土） 后六・〇〇一六・三〇〔第一〕」
中井 3-7	NHK 放送台本 ラジオ民衆学校 芸術と 自由	野上彰	ガリ版、ホチキスどめ、1冊	ラジオドラマ脚本、「昭和二十四年十二〔一〕月二十六日（土） 后六、〇〇一六、三〇 第一放送 」
中井 3-8	NHK 放送台本 ラジオ民衆学校 「芸術」 第 回 芸術と絵画	秋月桂太	ガリ版、ホチキスどめ、1冊	ラジオドラマ脚本、「昭和二十四年十二月三日（土） 後六・〇〇一六・三〇 第一放送」
中井 3-9	NHK 放送台本 ラジオ民衆学校 「芸術」 11 文学	寺田太郎	ガリ版、ホチキスどめ、1冊	ラジオドラマ脚本、「昭和二十四年十二月十七日（土） 后六、〇〇一六、三〇 第一放送」
中井 3-10	NHK 放送台本 民衆学校 芸術 「音楽」	野上彰	ガリ版、ホチキスどめ、1冊	ラジオドラマ脚本、「十二月二十四日（土） 后六・〇〇一六・三〇 第一放送」「中井先生」
中井 3-11-1	〔メモ〕		国立国会図書館原稿用紙、2枚	「一、「国立国会図書館利用の葉」を編纂されては如何…」、中井 3-11 はクリップどめ
中井 3-11-2	〔メモ〕		国立国会図書館用箋、2枚	「目録第二課員の意見」
中井 3-11-3	〔メモ〕		国立国会図書館支部上野図書館用箋、3枚	「上野図書館の整備対策（昭和二十四年度）」
中井 3-11-4	〔メモ〕		国立国会図書館支部上野図書館用箋、3枚	「国立国会図書館法第二十二條後段を削除するの件」
中井 3-11-5	〔メモ〕		国立国会図書館支部上野図書館用箋、1枚	「収書方針に就いて」

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 3-11-6	〔メモ〕		国立国会図書館支部上野図書館用箋、2枚	「受入整理部に就いて」
中井 3-11-7	〔メモ〕		国立国会図書館支部上野図書館用箋、1枚	「第一義的サービスの確定に就いて」
中井 3-12	〔メモ〕		国立国会図書館用箋12枚をクリップどめ	「問題 1 室の問題 2 整理促進の問題」、用箋裏に横書き
中井 3-13	〔原稿〕		社団法人日本放送協会原稿用紙11枚をクリップどめ	「問 画がよくできておるかどうかということ論議について… 答 写実の立場でいいという…」
中井 4-1-1	美と集団の論理 82～151 再校		活版36枚をホチキスどめ	中井4は「中井正一資料 No1」と書かれた封筒に収める、うち4-1は「婦人公論」の封筒に収める
中井 4-1-2	美と集団 三一八一 二校		活版38枚をひも綴じ	
中井 4-2	美と実存 新しき美の課題 目次案		原稿用紙2枚をクリップどめ	
中井 4-3	行動の意味	中井正一	活版2枚をクリップどめ	
中井 4-4	河出書房新社封筒			「河出大学セミナー用 中井先生原稿」
中井 4-5	芸術	中井正一	活版1枚、朝日新聞社原稿用紙1枚、活版22枚、原稿用紙1枚、文房堂原稿用紙3枚をクリップどめ	『黄蜂』第3号、「芸術に於ける主体性の問題」と改題指示
中井 4-6	〔原稿〕		原稿用紙6枚をクリップどめ	「フオイエルバッハが彼の考へ方を…」
中井 4-7	機能概念と美	中井正一	原稿用紙24枚をクリップどめ	
中井 4-8	リアリズム論の基礎問題二三	中井正一	活版5枚をクリップどめ	「リアリズム論と浪漫主義」と改題指示
中井 4-9	芸術に於ける媒介の問題	中井正一	原稿用紙1枚、活版8枚をクリップどめ	
中井 4-10	気鋒の問題	中井正一	活版2枚をクリップどめ	
中井 4-11	ノイエ・ザッハリッヒカイト及実存在の美	中井正一	原稿用紙41枚をクリップどめ	
中井 4-12	芸術的空間 ～演劇の実存在的機構について	中井正一	原稿用紙39枚をクリップどめ	
中井 5-1	ラジオ民衆学校 第 回 芸術とヒューマニズム	秋月桂太	ガリ版、ホチキスどめ、1冊	ラジオドラマ脚本、「第一放送 十一月五日（土曜）后六一六・三〇」、中井5は「ラジオ民衆学校」と書かれた封筒に収める
中井 5-2	NHK 放送台本 ラジオ民衆学校 芸術（七） 芸術と道徳	西沢実	ガリ版、ホチキスどめ、1冊	ラジオドラマ脚本、「昭和二十四年十一月十二日（土）后六〇〇一六・三〇 第一放送」 「中井先生」

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 5-3	NHK 放送台本 ラジオ民衆学校 「芸術」 第四回 芸術の美しさと自然の美しさ	西沢実	ガリ版、ホチキスどめ、1冊	ラジオドラマ脚本、「昭和二十四年十月二十二日（土）后六・〇〇—六・三〇」
中井 6-1	岩波書店封筒			「港区赤坂一の一 旧赤坂離宮 中井正一殿」とあり、中井 6 は「深田先生 全集原稿」と書かれた封筒に収める、さらに「深田全集」と書かれた封筒に収める
中井 6-2	〔原稿〕		深田原稿用紙 46 枚(うち活版 3 枚)をひも綴じ	一枚一枚に「深田全集」の印、「定してゐる。理性と…」、No.164～209
中井 6-3	〔原稿〕		深田原稿用紙 30 枚をひも綴じ	一枚一枚に「深田全集」の印、「の領域から、自由概念の…」、No.210～239
中井 6-4	〔原稿〕		深田原稿用紙 26 枚をひも綴じ	一枚一枚に「深田全集」の印、「も又それは多数の因果律の…」、No.240～265
中井 6-5	八 自然の合目的性の論理的表現に就て。		深田原稿用紙 30 枚をひも綴じ	一枚一枚に「深田全集」の印、No.266～295
中井 6-6	〔原稿〕		深田原稿用紙 34 枚をひも綴じ	一枚一枚に「深田全集」の印、「故に、何時も…」、No.296～329
中井 6-7	〔原稿〕		深田原稿用紙 22 枚をひも綴じ	一枚一枚に「深田全集」の印、「其点から云へば、…」、No.331～352
中井 6-8	〔原稿〕		深田原稿用紙 42 枚をひも綴じ	一枚一枚に「深田全集」の印、「趣味判断を惹き起す所の…」、No.354～395
中井 6-9	〔原稿〕		深田原稿用紙 33 枚をひも綴じ	一枚一枚に「深田全集」の印、「てゐない。…」、No.396～428
中井 6-10	〔原稿〕		深田原稿用紙 27 枚をひも綴じ	一枚一枚に「深田全集」の印、「なら〔カ〕ず、…」、No.429～455
中井 6-11	〔原稿〕		深田原稿用紙 23 枚をひも綴じ	一枚一枚に「深田全集」の印、「とも亦明瞭である。…」、No.458～482 (抜けあり)
中井 6-12	〔原稿〕		深田原稿用紙 29 枚をひも綴じ	一枚一枚に「深田全集」の印、「的観照の状態に在るが…」、No.511～539
中井 6-13	〔原稿〕		深田原稿用紙 28 枚をひも綴じ	一枚一枚に「深田全集」の印、「る。事実又、文化に…」、No.540～567
中井 6-14	〔原稿〕		深田原稿用紙 28 枚をひもとクリップで綴じ	一枚一枚に「深田全集」の印、「所の一) を喚び起す…」、No.568～595

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 6-15	[原稿]		深田原稿用紙 25 枚をひも綴じ	一枚一枚に「深田全集」の印、「情のみであって、愉快若しくは…」、No.596～620
中井 6-16	[原稿]		深田原稿用紙、4 枚	
中井 7-1	[原稿・メモ]		原稿用紙、1 枚	「さいかち」、中井 7 は「中井正一先生 研究メモ類 草稿」と書かれた封筒に収める
中井 7-2	[原稿]		1 枚	弔辞
中井 7-3	[原稿]		ガリ版、3 枚	「日本精神史上に於ける「き」(気)並に「気質」(形気)の歴史的比較的、統計的研究」
中井 7-4	[メモ]		3 枚	「ヒューマンイズムの問題」
中井 7-5	[原稿]		活版、4 枚	「スポーツ気分」の構造」
中井 7-6	[原稿]		活版、7 枚	「思想的危機に於ける芸術並にその動向」
中井 7-7	[原稿]		活版、2 枚	「映画の時間」
中井 7-8	[原稿]		活版、3 枚	「映画の空間」
中井 7-9	[原稿]		原稿用紙、1 枚	「芸術学」目次
中井 7-10	[原稿]		原稿用紙、4 枚	「二 芸術的存在」(98～101)
中井 7-11	[原稿]		京都府川端警察署用箋、8 枚	「本居宣長全集 第四 備忘録」
中井 7-12	[原稿]		京都府用箋、4 枚	「絵の事」
中井 7-13	[原稿]		京都府用箋 1 枚、京都府川端警察署用箋 1 枚	「産霊」
中井 7-14	[原稿]		原稿用紙、7 枚	No.103～109
中井 7-15	[メモ]		原稿用紙、1 枚	「綿が有…」
中井 7-16	[原稿]		原稿用紙、9 枚	「ヘーゲルは…」
中井 7-17	[原稿]		原稿用紙、1 枚	No.130
中井 7-18	[原稿]		原稿用紙、3 枚	「『ピエルの目が…』」
中井 7-19	[原稿]		原稿用紙、11 枚	No.20～30
中井 7-20	[メモ]		2 枚	「Heidegger…」
中井 7-21	[原稿]		原稿用紙、4 枚	「美学入門」目次
中井 7-22	[原稿]		原稿用紙、3 枚	「芸術学が、ギリシヤ的な…」
中井 7-23	[原稿]		原稿用紙、6 枚	No.2、6～8、18、56
中井 7-24	[原稿]	中井正一	原稿用紙、24 枚	「脱出と回帰」(1～10、12、13、15～16、18～20、22、25～27、29～31)

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 7-25	〔原稿〕		原稿用紙、2枚	「このときの「狭い門」を通して…」(18、19)
中井 7-26	〔メモ〕		1枚	「委員会の歴史的 성격」
中井 7-27	〔原稿〕		原稿用紙、1枚	「カントに於て…」
中井 7-28	〔原稿〕		原稿用紙、7枚	「すものである。いはゞ、ヘーゲルの…」(2～7、9)
中井 7-29	〔原稿〕		原稿用紙、9枚	「かくの如く…」(24～30、32、33)
中井 7-30	〔原稿〕		原稿用紙、6枚	「べきである。…」(31～36)
中井 7-31	〔メモ〕		1枚	「距離」
中井 7-32	〔メモ〕		1枚	「明暗」
中井 7-33	〔メモ〕		1枚	「現代に於ける絵画の位置 (一九二六、九、十九)」
中井 7-34	〔『哲学研究』断片〕		2枚	
中井 7-35	〔メモ〕		11枚	
中井 7-36	〔白紙〕		2枚	
中井 7-37	〔メモ〕		2枚	
中井 7-38	〔メモ〕		ノート断片、5枚	「形式…」
中井 7-39	〔メモ〕		ノート断片、1枚	「形式の問題」
中井 7-40	〔メモ〕		ノート断片、1枚	「本質を包含する…」
中井 7-41	〔メモ〕		ノート断片、4枚	「額縁が…」
中井 7-42	〔メモ〕		ノート断片、7枚	「芸術活動に於ける連続の意味Ⅲ」
中井 7-43	〔メモ〕		1枚	「3 家定 家綱…」
中井 7-44	〔メモ〕		原稿用紙、2枚	「計画…」
中井 7-45	〔メモ〕		原稿用紙、2枚	「ノイエザッハリッヒカイトの美学」
中井 7-46	〔メモ〕		原稿用紙、2枚	図形多し
中井 7-47	〔メモ〕		原稿用紙、5枚	「水平とは…」
中井 7-48	〔メモ〕		1枚	「光、言、音」
中井 7-49	〔メモ〕		8枚	「光淋、一蝶」
中井 7-50	〔メモ〕		原稿用紙、3枚	「日本美術史 構成の諸角度」
中井 7-51	〔メモ〕		原稿用紙、7枚	
中井 8-1	〔原稿〕	中井正一	参議院調査部原稿用紙、29枚	「美学入門」(90～100、110～124、133、135、136)、中井 8 は「中井正一先生 未整理原稿」と書かれた封筒に収める、さらに「未整理原稿」と書かれた封筒に収める
中井 8-2	〔原稿〕	中井正一	原稿用紙、5枚	「言葉はいつも…」(1～5)

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 8-3	〔原稿〕	中井正一	原稿用紙、10枚	「美学入門 第五回」「文化講座 十一月三十日 一〇・一五」
中井 8-4	〔原稿〕		参議院調査部原稿用紙15枚をクリップどめ	「つてゐない多くの…」(4～18)
中井 8-5	〔原稿〕	中井正一	原稿用紙、16枚	「芸術について」(1～16)
中井 8-6	〔メモ〕		原稿用紙、2枚	
中井 8-7	〔白紙〕		原稿用紙、8枚	
中井 8-8	〔メモ〕		原稿用紙、2枚	
中井 8-9	〔原稿〕	中井正一	原稿用紙、2枚	「映画に於ける物理的集团的性格」(1～2)
中井 8-10	〔原稿〕		帝国学士院紀事原稿用紙、8枚	「等が即それである。…」(17、33、41、41、42、51、59、59)
中井 8-11	〔原稿〕	中井正一	原稿用紙、16枚	「美学入門」(1～10、12～17)
中井 8-12	〔原稿〕	中井正一	原稿用紙、8枚	「美学入門 第七回」「文化講座 十二月十四日 十時十五分」(1～4、4、10～12)
中井 8-13	〔原稿〕	中井正一	原稿用紙、11枚	「美学入門 第八回」「文化講座 十二月二十一日 十時十五分」(1、1～6、10～13)
中井 8-14	〔原稿〕	中井正一	原稿用紙、10枚	「思出づるまゝに」(1、1～9)
中井 8-15	〔原稿〕		参議院調査部原稿用紙、4枚	「四 芸術とは何であるか」(19～22)
中井 8-16	〔原稿〕		原稿用紙、4枚	「読める快適な施設があり、…」(8～11)
中井 8-17	〔原稿〕		原稿用紙、3枚	「あれも三十六連句の形式で…」(14～16)
中井 8-18	〔原稿〕		原稿用紙、3枚	「は政治家が考へてゐる…」(4、12、17)
中井 8-19	〔原稿〕		原稿用紙、3枚	「んとうの自分を発見し…」(6、12、14)
中井 8-20	〔原稿〕		原稿用紙、6枚	「男 そうなんです。…」(6、12、16、17、18、18)
中井 8-21	〔原稿〕		原稿用紙、12枚	「物のあわれ…」
中井 9-1-1	〔原稿・写真〕		原稿用紙1枚、写真1枚	「時である…」、中井9は「中井正一先生「近代美の研究」中に写真あり「美学入門」・「芸術観のさまざま」と書かれた封筒に収める
中井 9-1-2	〔原稿〕		原稿用紙、4枚	「て現われた…」
中井 9-1-3	〔原稿〕	中井正一	活版、7枚	「機械美の構造」
中井 9-1-4	〔原稿〕	中井正一	活版、12枚	「現代に於ける美の諸性格」
中井 9-1-5	〔原稿〕		活版、2枚	

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 9-1-6	〔原稿〕		2 枚	〔近代美の研究〕表紙・目次案
中井 9-1-7	〔原稿〕		原稿用紙、35 枚	〔式美麗飾美的…〕
中井 9-1-8	〔原稿〕	中井正一	帝国学士院紀事原稿用紙、3 枚	〔あとがき〕〔昭和二十二年五月五日〕
中井 9-2-1	美学入門（一）	中井正一	原稿用紙 19 枚をクリップどめ	〔十一月二日后一〇・四〇 文化講座 第二〕
中井 9-2-2	美学入門（第二回）「美とは何であるか」 —技術の中に—	中井正一	原稿用紙 17 枚をクリップどめ	〔十一月九日后一〇・十五— 第一 文化講座〕
中井 9-2-3	美学入門 第三回 美とは何であるか— 芸術のなかに—	中井正一	原稿用紙 20 枚をクリップどめ	〔文化講座 十一月十六日后一〇・十五〕
中井 9-2-4	美学入門 第四回 芸術とは何であるか	中井正一	原稿用紙 20 枚をクリップどめ	〔文化講座 十一月二十三日后一〇・一五〕
中井 9-2-5	美学入門 第五回 芸術のいろいろのす がた—歴史の流れの中に—	中井正一	原稿用紙 18 枚をクリップどめ	〔文化講座 十一月三十日后一〇・一五〕
中井 9-2-6	美学入門 第六回 芸術のいろいろのす がた—地理のひろがりの中に—	中井正一	原稿用紙 18 枚をクリップどめ	〔十二月七日后一〇・一五一 第一 文化講座〕
中井 9-2-7	美学入門 第七回 生きてゐることと芸術	中井正一	原稿用紙 19 枚をクリップどめ	〔文化講座 十二月十四日 后十時十五分〕
中井 9-2-8	美学入門 第八回 芸術とその媒介	中井正一	原稿用紙 18 枚をクリップどめ	〔文化講座 十二月二十一日 后十時十五分〕
中井 9-2-9	美学入門 第九回 生きてゐることの美 しさ	中井正一	原稿用紙 19 枚をクリップどめ	〔文化講座 十二月二十八日 后十時十五分 第一〕
中井 9-3	〔原稿〕		原稿用紙、19 枚	〔彩色の、その色の…〕
中井 9-4	〔原稿〕		社団法人日本放送協会原稿用紙 21 枚をクリップどめ	〔芸術と音楽。先ず…〕、欄外に「○第 11 回 P46〕
中井 9-5-1	〔原稿〕		社団法人日本放送協会原稿用紙、 1 枚	中井正一口述「芸術と音楽」、中井 9-5 は全て表題のみ
中井 9-5-2	〔原稿〕	中井正一	社団法人日本放送協会原稿用紙、 1 枚	〔芸術と絵画〕〔昭和二十四年十月二十九日〕
中井 9-5-3	〔原稿〕	中井正一	社団法人日本放送協会原稿用紙、 1 枚	〔(芸術と思想) (芸術と生活)〕
中井 9-5-4	〔原稿〕	中井正一	社団法人日本放送協会原稿用紙、 1 枚	〔芸術と自由〕
中井 9-5-5	〔原稿〕	中井正一	社団法人日本放送協会原稿用紙、 1 枚	〔芸術と道德〕

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 9-5-6	〔原稿〕	中井正一	社団法人日本放送協会原稿用紙、1枚	「芸術とヒューマニズム」
中井 9-5-7	〔原稿〕	中井正一	参議院用箋、1枚	「芸術の普遍性について」
中井 9-5-8	〔原稿〕	中井正一	原稿用紙、1枚	「芸術の美しさと自然の美しさ」
中井 9-5-9	〔原稿〕		社団法人日本放送協会原稿用紙、1枚	中井正一口述「芸術の価値」
中井 9-5-10	〔原稿〕		社団法人日本放送協会原稿用紙、1枚	中井正一口述「芸術とは何か」
中井 9-5-11	〔原稿〕		社団法人日本放送協会原稿用紙、1枚	中井正一口述「芸術観のさまざま」
中井 9-6	芸術の価値		社団法人日本放送協会原稿用紙 39枚をひも綴じ	
中井 10-1-1	美と集団 ①		原稿用紙 22枚をホチキスどめ	1枚目は剥がれている、刻印 1～20、中井 10 は「中井正一先生「美と集団」「スポーツ気分の構造」と書かれた封筒に収める
中井 10-1-2	美②		原稿用紙 20枚をホチキスどめ	10-1-1の続き、刻印 21～40
中井 10-1-3	美③		原稿用紙 17枚をホチキスどめ	10-1-2の続き、刻印 41～57
中井 10-2-1	スポーツ気分の構造 美④		原稿用紙 23枚をホチキスどめ	10-1-3の続き、刻印 1～22
中井 10-2-2	美⑤		原稿用紙 22枚をホチキスどめ	10-2-1の続き、最終ページは剥がれている、刻印 23～44
中井 11-1-1	一、西洋と東洋の美		原稿用紙 39枚をひもとクリップで綴じ	刻印 58～88、1～8、中井 11 は「中井正一先生 未完成原稿 研究メモ・草稿 放送原稿」と書かれた封筒に収める、11-1 はさらに「日本放送協会」の封筒に収める
中井 11-1-2	〔原稿〕		原稿用紙 22枚をクリップどめ	表題なし、11-1-1の続きか、刻印 89～110
中井 11-2	〔原稿〕	中井正一	原稿用紙、10枚	「国立国会図書館について」、11-2 は「未完原稿」と書かれた「改造社」封筒に収める
中井 11-3-1	〔メモ〕		4枚	「積極的無…」(1～4)、11-3 は「雑」と書かれた封筒に収める
中井 11-3-2	〔中井宛長沢信寿書簡〕		ルーズリーフ、3枚	「前略、昨日は御多忙の処へ…」「四月二十六日」(1～3)
中井 11-3-3	〔メモ〕		2枚	「芸術の時間に…」(1～2)
中井 11-3-4	〔メモ〕		3枚	「時間と文学…」(1～3)
中井 11-3-5	〔メモ〕		2枚	「社会学」(1～2)

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 11-3-6	[メモ]		2枚	「文学…」(2～3)
中井 11-3-7	[メモ]		4枚	「近松の…」(4～7)
中井 11-3-8	[メモ]		15枚	「技術…」
中井 11-3-9	[原稿]	中井正一	原稿用紙、5枚	「個人と集団の対決 映画のみかた—瓜生忠夫著」
中井 11-3-10	[メモ]		16枚	「(2) いはゞ…」
中井 11-3-11	[原稿・メモ]		原稿用紙、14枚	表に原稿、裏にメモしてある紙が多い、1枚目裏「人間の魂の最後の指導原理は…」
中井 11-3-12	[メモ]		7枚	「ベルグソン ハイデッガー」
中井 11-3-13	[メモ]		2枚	「す 涼 啜 (ススルヒ) …」
中井 11-3-14	[メモ]		ノート断片、1枚	「室町時代物語集」
中井 11-3-15	エツワルド・ムンク (チュウリヒ美術館に於けるムンク展覧会に際して)	ベンノ・ライフェンベルク	活版、4枚	887～896頁
中井 11-3-16	[メモ]		2枚	「せ 瀬 世、勢、…」
中井 11-3-17	[原稿]		原稿用紙、2枚	「私は之等の主体性の立場から…」、(62、61)
中井 11-3-18	[メモ]		1枚	「媒介— (気) …」
中井 11-3-19	[メモ]		6枚	「そ 袖 そね (助) …」
中井 11-3-20	[メモ]		原稿用紙、1枚	「[のり]の意味 (昭和二〇.九.一一 福山光明寺にて。)」
中井 11-3-21	[メモ]		原稿用紙、4枚	「空間性格 (観念型態) …」
中井 11-3-22	[メモ]		1枚	「微笑 十月十日、図書館ニテ」
中井 11-3-23	[メモ]		原稿用紙、2枚	「知識階級と労働」
中井 11-3-24	[メモ]		ノート断片、3枚	「カント講座 草稿 1946.4.15.」、うち2枚は記入なし
中井 11-3-25	[メモ]		ノート断片、37枚	「気」に関するメモなど、途中に別の用紙のメモ6枚をはさむ
中井 11-3-26	[メモ]		1枚	「し しろ白 (基底の媒介面の場所) …」
中井 11-3-27	[メモ]		原稿用紙、1枚	「知識と労働」 「一九四六、(三原、三車講演)」
中井 11-3-28	[メモ]		1枚	「フッサール ヘーゲル…」
中井 11-3-29	[メモ]		1枚	「genesis (発展) …」
中井 11-3-30	[メモ]		2枚	「Kurt Lewis」
中井 11-3-31	[メモ]		2枚	「Kurt Lewis」 (1～2)
中井 11-3-32	[メモ]		1枚	「空間 (技術存在) …」
中井 11-3-33	[メモ]		1枚	「共通…」

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 11-3-34	〔メモ〕		1 枚	「そこでは…」
中井 11-3-35	〔原稿〕		深田原稿用紙、1 枚	「深田全集」の印、「して、若しも其尺度の…」(483)
中井 11-3-36	〔メモ〕		1 枚	「仏教」
中井 11-3-37	〔白紙〕		原稿用紙、1 枚	
中井 12-1	〔原稿〕	中井正一	原稿用紙、14 枚	「美学入門 第三回」(1～3、7～17)、中井 12 は「中井正一先生 未整理原稿」と書かれた封筒に収める、さらに「未整理原稿」と書かれた古い封筒に収める、裏をメモ用に使っているものが多い
中井 12-2	〔原稿〕	中井正一	原稿用紙、14 枚	「美学入門 第四回 芸術とは何であるか」(1～11、13、14)、「文化講座十一月二十三日 后一〇・一五」
中井 12-3	図書館	中井正一	8 枚をクリップどめ	No.1～8
中井 12-4	〔原稿〕	中井正一	原稿用紙、4 枚	「映画の光」(1～4)
中井 12-5	〔原稿〕		原稿用紙、10 枚	「人生の底に至りつくしてゐる…」(11～20)
中井 12-6	〔原稿〕		参議院調査部原稿用紙、14 枚	「三 美とは何であるか」(105～109、125～132、134)
中井 12-7	〔原稿〕		原稿用紙、3 枚	「序を見ることで、…」(3、4、6)
中井 12-8	〔原稿〕		原稿用紙 11 枚	「離を感じ、…」(8～16、18、19)
中井 12-9	〔原稿〕		原稿用紙、3 枚	「つて、あの巨大なものを…」(16～18)
中井 12-10	〔原稿〕		原稿用紙、2 枚	「涯位は、…」(18、19)
中井 12-11	〔原稿〕		原稿用紙、2 枚	「かう考へて来ると…」(18、19)
中井 12-12	〔原稿〕		社団法人日本図書館協会原稿用紙、4 枚 (うち 3 枚クリップどめ)	「けないんです。…」(15～18)
中井 12-13	〔原稿〕		原稿用紙、4 枚	「。前にボートの話を…」(6、16、17、17)
中井 12-14	〔原稿・メモ〕	中井正一	原稿用紙、32 枚	
中井 12-15	〔メモ〕		参議院調査部原稿用紙等 8 枚をクリップどめ	「今と此処」
中井 12-16	〔メモ〕	中井正一	原稿用紙、2 枚	「模写論の美学的関連」
中井 12-17	〔メモ〕	中井正一	原稿用紙、1 枚	「近代美の構造」「一九三二・七・二三」
中井 12-18	〔メモ〕		2 枚	「美の時間的機構」(a、b)
中井 12-19	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「投票の存在的性格」
中井 12-20	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「委員会の構造」
中井 12-21	〔メモ〕		4 枚	「行動心理学」

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 12-22	[メモ]		4 枚	「フッサール」
中井 12-23	[メモ]		1 枚	「論理の諸性格」
中井 12-24	[メモ]		1 枚	「存在の諸性格」
中井 12-25	[メモ]		原稿用紙、1 枚	「機能概念の美学への寄与」
中井 12-26	[メモ]		ガリ版、1 枚	「芸術の人間学的考察」
中井 12-27	[メモ]		原稿用紙、1 枚	「芸術の人間学的見方」
中井 12-28	[メモ]		原稿用紙、1 枚	「スポーツ美の構造」
中井 12-29	[メモ]		原稿用紙、1 枚	「日本の思想の危機に於ける芸術とその動向」
中井 12-30	[メモ]		原稿用紙 5 枚、ガリ版 2 枚	「芸術の人間学的考察」
中井 12-31	[メモ]		原稿用紙、1 枚	「文学の構成」
中井 12-32	[メモ]		原稿用紙、3 枚	「自然と芸術」
中井 12-33	[メモ]		3 枚	「人間学」(1～3)
中井 12-34	[メモ]		1 枚	「芸術学」
中井 12-35	[メモ]		1 枚	「映画の空間」と「演劇の空間」
中井 12-36	[メモ]		1 枚	「現代美の諸性格」
中井 12-37	[メモ]		7 枚	「浪漫主義」
中井 12-38	[メモ]		2 枚	「主体性の問題」
中井 12-39	[メモ]		1 枚	「芸術に於ける主体性の問題」
中井 12-40	[メモ]		1 枚	「日本に於ける歴史書の類型」
中井 12-41	[メモ]		1 枚	「平安期の仏教の機構」
中井 12-42	[メモ]		1 枚	「日本に於ける貴族文化の構造」
中井 12-43	[メモ]		1 枚	「日本に於ける貴族文化」
中井 12-44	[メモ]		1 枚	「室町に於ける神秘的思想の基礎」
中井 12-45	[メモ]		原稿用紙、2 枚	「芸術の中の美」
中井 12-46	[メモ]		原稿用紙、1 枚	「(4) 附托性の構造の論理性は何か」
中井 12-47	[メモ]		原稿用紙、9 枚	
中井 12-48	[メモ]		1 枚	「空穂物語に見ゆる個性主義の共味」
中井 12-49	[メモ]		1 枚	「日本古代の世界観」
中井 12-50	[メモ]		1 枚	「ギリシヤ…」
中井 12-51	[メモ]		1 枚	「montaigne 1533」
中井 12-52	[メモ]		1 枚	「国際化…」

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 12-53	[メモ]		1枚	「ポッチチェリ」
中井 12-54	[メモ]		1枚	「日本語」
中井 12-55	[メモ]		1枚	「間」
中井 12-56	[メモ]		原稿用紙、1枚	「内に唄ふほど咽が唄へたら」
中井 12-57	[メモ]		原稿用紙、1枚	「リズム弁証法性…」
中井 12-58	[メモ]		原稿用紙、1枚	「資本…」
中井 12-59	[メモ]		原稿用紙、1枚	「社会 芸術 知識…」
中井 12-60	[メモ]		原稿用紙、1枚	「時を導し moment…」
中井 12-61	[メモ]		原稿用紙、1枚	「機能…」
中井 12-62	[メモ]		原稿用紙、1枚	「Transcendents」
中井 12-63	[メモ]		原稿用紙、1枚	「数学的秩序…」
中井 12-64	[メモ]		1枚	「十一—十二…」
中井 12-65	[メモ]		原稿用紙、1枚	「哲学 論理…」
中井 12-66	[メモ]		原稿用紙、1枚	「否定—Dialk…」
中井 12-67	[メモ]		1枚	「無 存…」
中井 12-68	[メモ]		五線紙、1枚	「大阪市天王寺区寺田町十四」
中井 12-69	[メモ]		1枚	「ヘーゲルの推論式論理」
中井 12-70	[メモ]		1枚	「神楽 催馬楽…」
中井 12-71	[メモ]		1枚	「河海抄のイデオロギー的位置づけ」
中井 12-72	[メモ]		原稿用紙、1枚	「的表现意味であるならば…」(2行目)
中井 12-73	[メモ]		原稿用紙、1枚	「世界系列 機能論…」
中井 12-74	[メモ]		1枚	「無名草子の美的世界の構造」
中井 12-75	[メモ]		1枚	「貞永式目の封建的意味」
中井 12-76	[メモ]		1枚	「漢字より仮名まじりになることの時代的意味」
中井 12-77	[メモ]		1枚	「音の起源の仮説」
中井 12-78	[メモ]		1枚	「桃山安土のイデオロギー」
中井 12-79	[メモ]		1枚	「ラニヨオ 1894」
中井 12-80	[メモ]		1枚	「N. Hartmann」
中井 12-81	[メモ]		1枚	「必然 現実 仮定 可能…」
中井 12-82	[白紙]		原稿用紙、10枚	

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 13-1	[プログラム]		タイプ、5枚	東京藝術大学音楽部管弦楽演奏会プログラム(和文2、英文3)、中井13は「中井正一先生 国立国会図書館関係」と書かれた封筒に収める
中井 13-2	[プログラム]		タイプ、2枚	「木賊刈」
中井 13-3	[演奏会配車計画表]		ガリ版、1枚	赤鉛筆で「四日」
中井 13-4	音楽文化資料展覧会演奏会番組		ガリ版、2冊、ホチキスどめ	赤鉛筆で「四日」、「昭和二十五年十一月四日」
中井 13-5	レコード・コンサート 日本民謡の会 プログラム(十一月四日、五日開催)		ガリ版、1枚	赤鉛筆で「四、五日」
中井 13-6	音楽文化資料展覧会附帯行事講演会実施 計画		ガリ版、1枚	「中井」の印、赤鉛筆で「五日」、「昭和二五、一〇、三〇 上野幹事」
中井 13-7	国立国会図書館「文化の日」記念行事 音楽文化資料展覧会の概要		ガリ版4枚をホチキスどめ	
中井 13-8	二日(順路)展覧会場 御順覧時刻予測		ガリ版3枚をクリップどめ	赤鉛筆で「二日 席」
中井 13-9	[メモ]		国立国会図書館用箋、8枚	「角倉」
中井 13-10	[雑誌目次原稿]		タイプ11枚をクリップどめ、ほ かバラで2枚	
中井 13-11	履歴書	五十嵐祐宏	タイプ、1枚	「昭和二十三年十月十八日」
中井 13-12	[メモ]		国立国会図書館用箋、1枚	漢文資料名をあげる
中井 13-13	音楽文化資料展覧会の概要		タイプ5枚をホチキスどめ	「中井」の印
中井 13-14	THE EXHIBITION OF JAPANESE MUSIC AND MUSICOLOGY		タイプ5枚をホチキスどめ	英文プログラム
中井 13-15	音楽文化資料展覧会関係員配置表 (その一)		ガリ版、1枚	赤鉛筆で「組織」
中井 13-16	[雑誌目次原稿]		タイプ、3枚	
中井 13-17	館外執筆依頼候補氏名(順序不同)		国立国会図書館用箋3枚をクリッ どめ	
中井 13-18	雑誌発行に関する件		タイプ、1枚	
中井 13-19	雑誌刊行に関する私案		タイプ、4枚	「昭和二四、一一、一九」
中井 13-20	[第三号目次案]		タイプ、1枚	
中井 13-21	雑誌「読書春秋」編集実行委員○印連絡 主任		タイプ、1枚	

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 13-22	〔中井宛報告書〕		国立国会図書館用箋2枚をクリップどめ	「雑誌ノ内容ニ関シテ協議ノ結果決シタコト（一二、一七）」
中井 13-23	春秋会協議事項（昭和二五—三一—二八）		タイプ、1枚	
中井 13-24	国立国会図書館春秋会設立趣意書	発起人	タイプ、1枚	「昭和二十五年二月二十日」
中井 13-25	国立国会図書館春秋会要綱		タイプ、1枚	
中井 13-26	業務能率化小委員会答申案	臨時企画委員会業務能率化小委員会委員長 上里美須丸	国立国会図書館用箋等18枚をクリップどめ	「中井」の印、「昭和二十五年五月三十日」
中井 13-27	〔階上 地中室 図面〕		青焼き、2枚	平面図
中井 13-28	故中井正一著作件名表（現在中井家にあるもの）		タイプ、2綴、ホチキスどめ	
中井 13-29	図書館運営に関し希望する事項	課長会議幹事山下平一 同 松岡武文	タイプ2枚をクリップどめ	「昭和二十五年五月二十三日」
中井 13-30	臨時企画委員会答申の件	臨時企画委員長	タイプ、1枚	「昭和二十五年五月 日」
中井 13-31	臨時企画委員会答申事項に関する一般考査部の具体的措置案		タイプ2枚をホチキスどめ	
中井 13-32	臨時企画委員会提出課題		国会図書館用箋、2枚	
中井 13-33	企画委員会議題		国会図書館用箋、1枚	「調査立法考査局」の印
中井 13-34	臨時企画委員会提出議題		タイプ、1枚	「国立国会図書館支部上野図書館」の印
中井 13-35	臨時企画委員会提出案	受入整理部	国立国会図書館原稿用紙2枚をクリップどめ	
中井 13-36	十一月四日実演招待一覧表		タイプ、2枚	「中井」の印
中井 13-37	〔図書分類表〕		タイプ、1枚	
中井 13-38	〔メモ〕		1枚	赤鉛筆で「雑誌事項」
中井 13-39	〔表〕		ガリ版、1枚	
中井 13-40	〔白紙〕		国立国会図書館用箋、3枚	
中井 14-1	〔封筒断片〕			片面だけ残存、もともと中井14全体を収めていたものか、中井14は「中井正一先生 未整理原稿（メモ）」と書かれた封筒に収める
中井 14-2	Structure of Algebras (1939)		ガリ版、1枚	洋書案内（独逸書房）
中井 14-3	〔原稿〕		原稿用紙、2枚	「美学概論」

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 14-4	〔原稿〕	中井正一	原稿用紙、2枚	「我を忘れること」(1、2)
中井 14-5	〔原稿〕	中井正一	原稿用紙、5枚	「日本精神史に於ける「き」(気)並に「かたぎ」(形気)(気質)なる語の歴史的比較的及び統計的研究」
中井 14-6	〔原稿〕		原稿用紙、4枚	「くものことで、…」(10～13)
中井 14-7	〔原稿〕		原稿用紙、13枚	「にならせ、現状の…」
中井 14-8	〔メモ〕		原稿用紙、4枚	「(I) 国体の問題より見たる尾道史」
中井 14-9	〔原稿・メモ〕		原稿用紙、4枚	「て、館員達を…」(15、16、18、21)
中井 14-10	〔メモ〕		ルーズリーフ、4枚	「東洋と西洋の芸術的比較」
中井 14-11	〔メモ〕		7枚	「美しい萩」
中井 14-12	〔メモ〕		7枚	「狩野家の政治性」
中井 14-13	〔メモ〕		原稿用紙、1枚	「人間の尊厳」
中井 14-14	〔メモ〕		原稿用紙、4枚	「物活〔カ〕論(原始唯物論)」
中井 14-15	〔メモ〕		原稿用紙等、6枚	「Art as Experience」
中井 14-16	〔メモ〕		6枚	「芸術の危機」(1～6)
中井 14-17	〔メモ〕		4枚	「敗戦の現状」
中井 14-18	〔メモ〕		原稿用紙、7枚	「き 気…」
中井 14-19	〔メモ〕		2枚	「技術の概念」
中井 14-20	〔メモ〕		1枚	「能力に応じ…」
中井 14-21	〔メモ〕		1枚	「美の変遷」
中井 14-22	〔メモ〕		1枚	「記録映画」
中井 14-23	〔メモ〕		原稿用紙、1枚	「構成の美感」
中井 14-24	〔メモ〕		1枚	「論理」
中井 14-25	〔メモ〕		1枚	「弥勒 布袋」
中井 14-26	〔メモ〕		ルーズリーフ、1枚	「日本的否定的性格」
中井 14-27	〔メモ〕		ルーズリーフ、1枚	「否定の支那的日本的性格」
中井 14-28	〔メモ〕		1枚	「近代科学の論理(1937.5.4)」
中井 14-29	〔メモ〕		1枚	「文学」
中井 14-30	〔メモ〕		1枚	「客観 主体」
中井 14-31	〔メモ〕		原稿用紙、1枚	「エグジステンチヤをもつて…」
中井 14-32	〔メモ〕		原稿用紙、2枚	「アルケー」
中井 14-33	〔メモ〕		原稿用紙、1枚	「言語音響」

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 14-34	〔メモ〕		1 枚	「肯定には…」
中井 14-35	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「モンタージュ」
中井 14-36	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「存在の隔り」
中井 14-37	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「身心論」
中井 14-38	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「分離」
中井 14-39	〔メモ〕		1 枚	「人生の行動…」
中井 14-40	〔メモ〕		1 枚	「宗教的 人道的」
中井 14-41	〔メモ〕		1 枚	「川口、ブルジョア…」
中井 14-42	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「十四」
中井 14-43	〔メモ〕		1 枚	「技術の進歩の方向に将来を見通し」
中井 14-44	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「帝王 1 平安 2 武士…」
中井 14-45	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「Transcendent」
中井 14-46	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「Funktionalismus」
中井 14-47	〔メモ〕		1 枚	「(十) 精神史としての概観」
中井 14-48	〔メモ〕		1 枚	「Die Seele des Menschen」
中井 14-49	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「美学」
中井 14-50	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「美学」
中井 14-51	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「近代の美」
中井 14-52	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「美学…」
中井 14-53	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「美の創造」
中井 14-54	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「芸術 可能⇔不可能」
中井 14-55	〔メモ〕		国立国会図書館原稿用紙、1 枚	「(1) 制作 集団…」
中井 14-56	〔メモ〕		国立国会図書館原稿用紙、1 枚	「機械時代…」
中井 14-57	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「カント ヘーゲル…」
中井 14-58	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「(序) アンフォード…」
中井 14-59	〔メモ〕		1 枚	「組織人のもつ (孤独) と (悲しみ)」
中井 14-60	〔メモ〕		1 枚	「美は如何に人々が愛してゐるか」
中井 14-61	〔メモ〕		1 枚	「時代と共に動いて行く…」 (2 行目)
中井 14-62	〔メモ〕		ルーズリーフ、1 枚	「東洋と西洋の比較」
中井 14-63	〔メモ〕		ルーズリーフ、1 枚	「釈迦、ウエルズ」
中井 14-64	〔メモ〕		原稿用紙、1 枚	「切断空間」

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 14-65	[メモ]		原稿用紙、1枚	「東洋の精神」
中井 14-66	[メモ]		原稿用紙、1枚	「芸術の普遍性」
中井 14-67	[メモ]		原稿用紙、1枚	「In the end…」
中井 14-68	[メモ]		国立国会図書館用箋、1枚	「The Condition of Man 1944」
中井 14-69	[メモ]		国立国会図書館用箋、1枚	「(メトロポリス) (カリガリ博士)」
中井 14-70	[メモ]		国立国会図書館用箋、1枚	「Dithyramb is Doom」
中井 14-71	[メモ]		ルーズリーフ、1枚	「日本建築の特徴」
中井 14-72	[メモ]		1枚	「美学のアントロポロジー的考察」
中井 14-73	[メモ]		原稿用紙、1枚	「(論) — (表象) — (判断)」
中井 14-74	[メモ]		1枚	「Ethos Pathos」
中井 14-75	[メモ]		1枚	「構成派…」
中井 14-76	[メモ]		1枚	「プロレタリア芸術」
中井 14-77	[メモ]		1枚	「資本主義」
中井 14-78	[メモ]		1枚	「リアリズムの問題」
中井 14-79	[メモ]		1枚	「芸術は…」
中井 14-80	[メモ]		1枚	「立体派…」
中井 14-81	[メモ]		1枚	「客観——般」
中井 14-82	[メモ]		1枚	「芸術プロパー」
中井 14-83	[メモ]		1枚	「何処でも…」
中井 14-84	[メモ]		1枚	「未来派…」
中井 14-85	[メモ]		1枚	「金銀」
中井 14-86	[メモ]		1枚	「我々の生活の…」
中井 14-87	[メモ]		1枚	「ブルースト」
中井 14-88	[メモ]		1枚	「近代美とは…」
中井 14-89	[メモ]		1枚	「明治初期演劇改良運動」
中井 14-90	[メモ]		ルーズリーフ、1枚	「思惟の姿勢の仏の相は…」
中井 14-91	[メモ]		1枚	「ブルジョア末期」
中井 14-92	[メモ]		1枚	「ブルジョア 一九〇五…」
中井 14-93	[メモ]		2枚	「リアリズム」
中井 14-94	[メモ]		1枚	「封建貴族」
中井 14-95	[メモ]		1枚	「プチブルインテリ」

識別番号	資料名	作成者	数量・形態	備考
中井 14-96	[メモ]		1枚	「近代美の性格(一)」
中井 14-97	[メモ]		1枚	「速力」
中井 14-98	[メモ]		1枚	「所謂リアリズムの問題」
中井 14-99	[メモ]		1枚	「真実」
中井 14-100	[メモ]		国立国会図書館原稿用紙2枚、社 団法人日本図書館協会原稿用紙1 枚	「(1) ギリシャ」
中井 14-101	[メモ]		原稿用紙、2枚	「封建の論理」
中井 14-102	[メモ]		原稿用紙、2枚	「ヘーゲル」
中井 14-103	[メモ]		1枚	「価値の渋滞性」
中井 14-104	[メモ]		原稿用紙、1枚	「自分自身を…」
中井 14-105	[メモ]		1枚	「作用…」
中井 14-106	[メモ]		1枚	「戯とは…」
中井 14-107	[メモ]		原稿用紙、12枚	
中井 14-108	[メモ]		8枚	
中井 14-109	[白紙]		原稿用紙等、3枚	